



痴漢囮捜査官・鈴峰杏花は
これまでいくつもの
痴漢を検挙してきた
凄腕の捜査官だった

彼女は捜査官としての
スキルや美貌にくわえて
不感症であるという
痴漢囮捜査官として
最大の利点をもっていた

しかし……
とある囮捜査の途中で
怪しい男に遭遇する

その男の不思議な力によって
不感症だったはずの鈴峰杏花の体は
眠っていた性的な快感を
呼び起こされて……
今まで感じたことのない
快楽の衝撃に戸惑わされ
何度もイカされ



痴漢囮捜査の最中に挿入されて
何も考えられなくなるほど
頭を真っ白にされながら
中出しされるという
最悪な失態を犯してしまう

それはこれまで完璧に
任務を遂行してきた
鈴峰杏花にとって
人生最大の屈辱だった





それからというもの
鈴峰杏花のカラダは
すっかりと変わってしまい
不感症だったカラダは
日を追うごとに敏感になっていった

ひとたび痴漢にカラダを触られると
カラダは熱く火照って力が入らなくなり
なすすべもなく犯される
そんな屈辱的な日々が1年近く続いた



ただ…
どんなに気持ちよくさせられても
一度もイカされなかったこと
それだけが痴漢団捜査官としての
最後のプライドだった



しかし1年後
バスの中で
ついにあの男に遭遇

これまで1年間
痴漢され続けて
カラダに蓄積されていた
快感が一気に爆発して

何なの…この男!!

今までのどんな
痴漢たちよりも…

的確に…
イイところを突いてきて…!!

おねがい…

イカせて…

ついには気持ちイイことを
認めさせながら
イカされてしまった…



へへ…
この敏感
美巨乳で

でも
用心深い男たちは

思う存分
遊ばせて
もらおうか

部屋に入るなり
私を拘束して…



一度は男に快感を認めさせられて
しまった杏花だったが
それでも痴漢囹捜査を
やめることはなかった

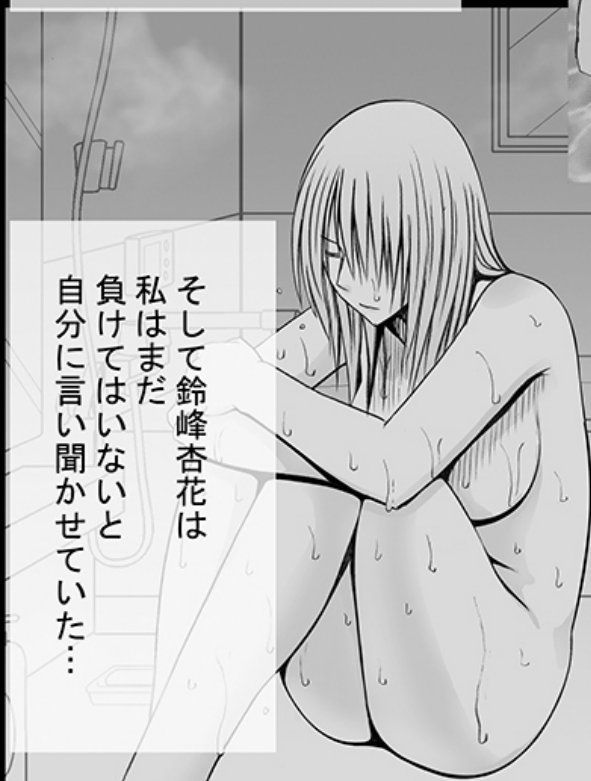
不感症を解放された反動で
普通の女性よりも
敏感でイキやすい体質に
なってしまった杏花は
囹捜査の最中に
痴漢されてカンタンに
イカされてしまう



乳首舐めるだけで
イッちゃうなんて
エロすぎでしょ？

ずいぶんと
エロいカラダに
なっちゃってるじゃん

全然イカなかったのに



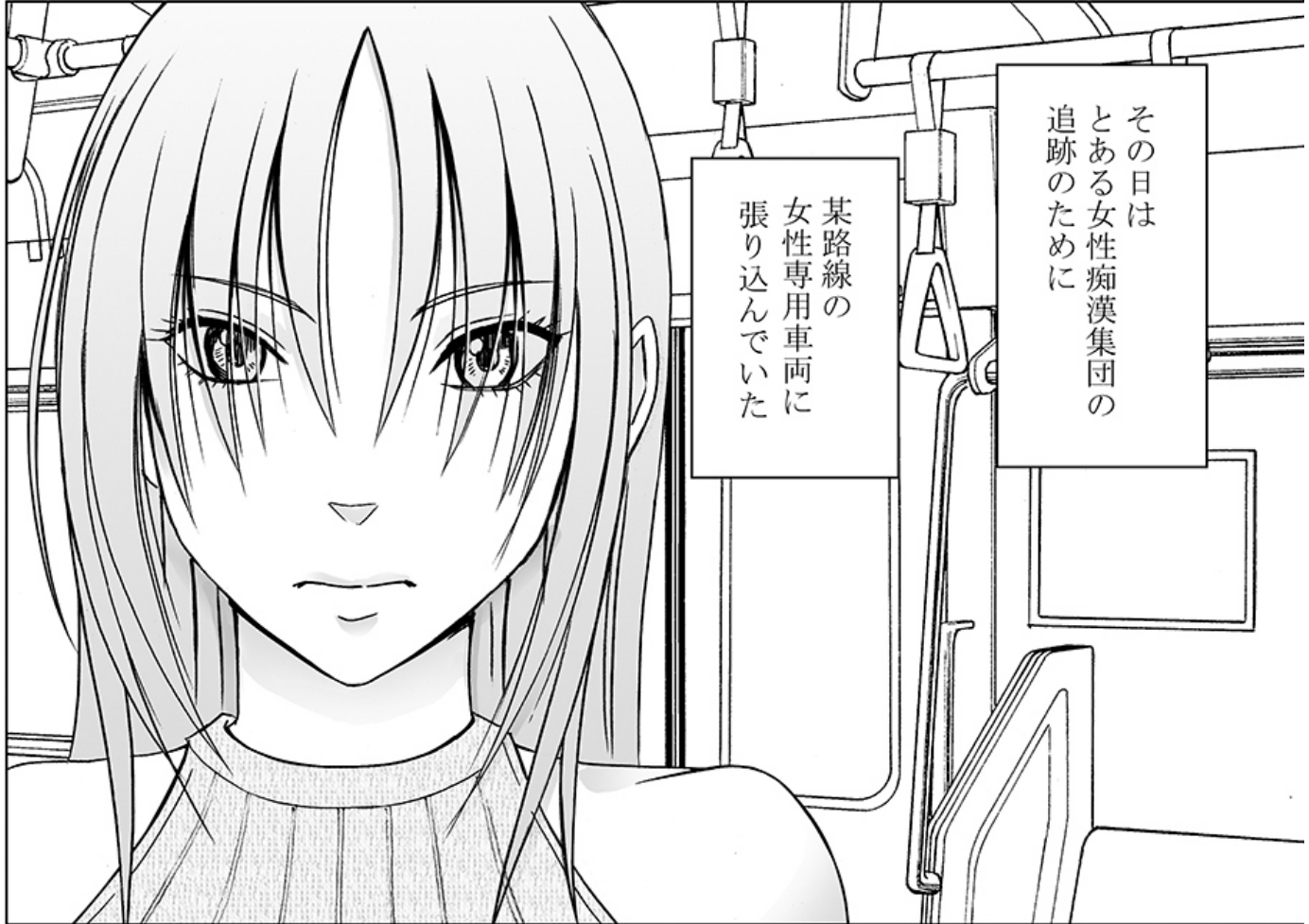
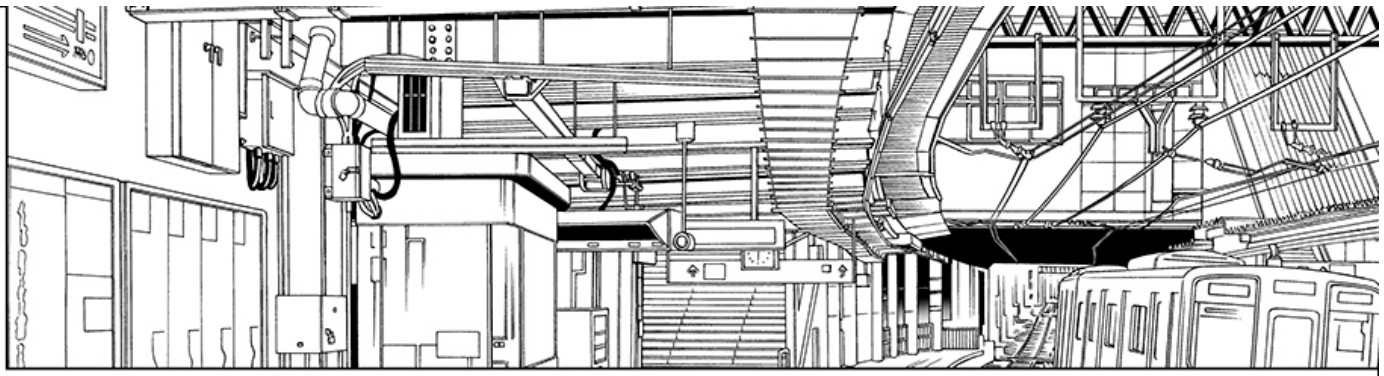
そして鈴峰杏花は
私はまだ
負けてはいないと
自分に言い聞かせていた…

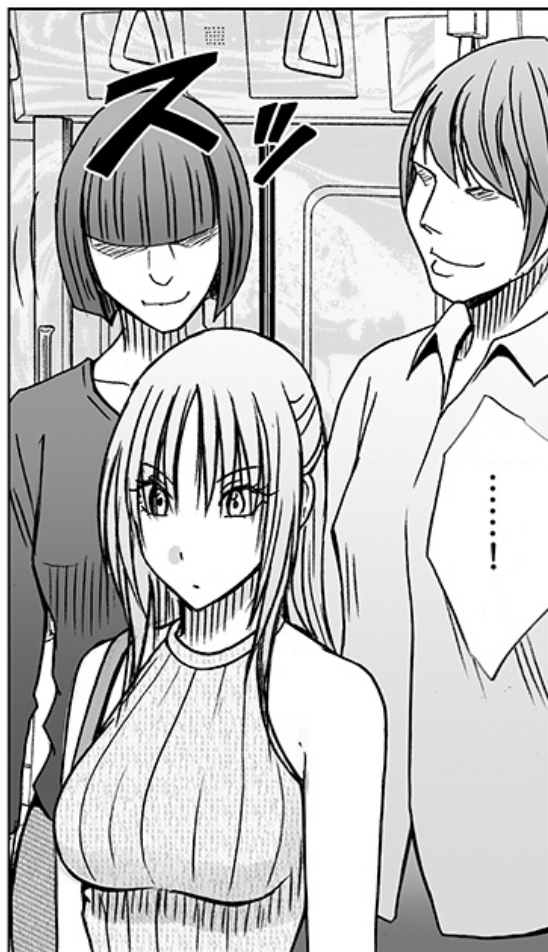


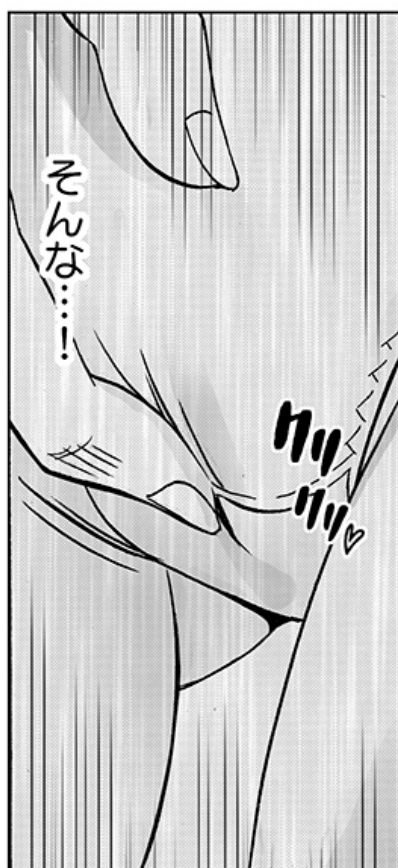
それでも
あえて従順になったフリを
することで情報を入手して
何組かの痴漢の逮捕に
成功したのだった

第6話

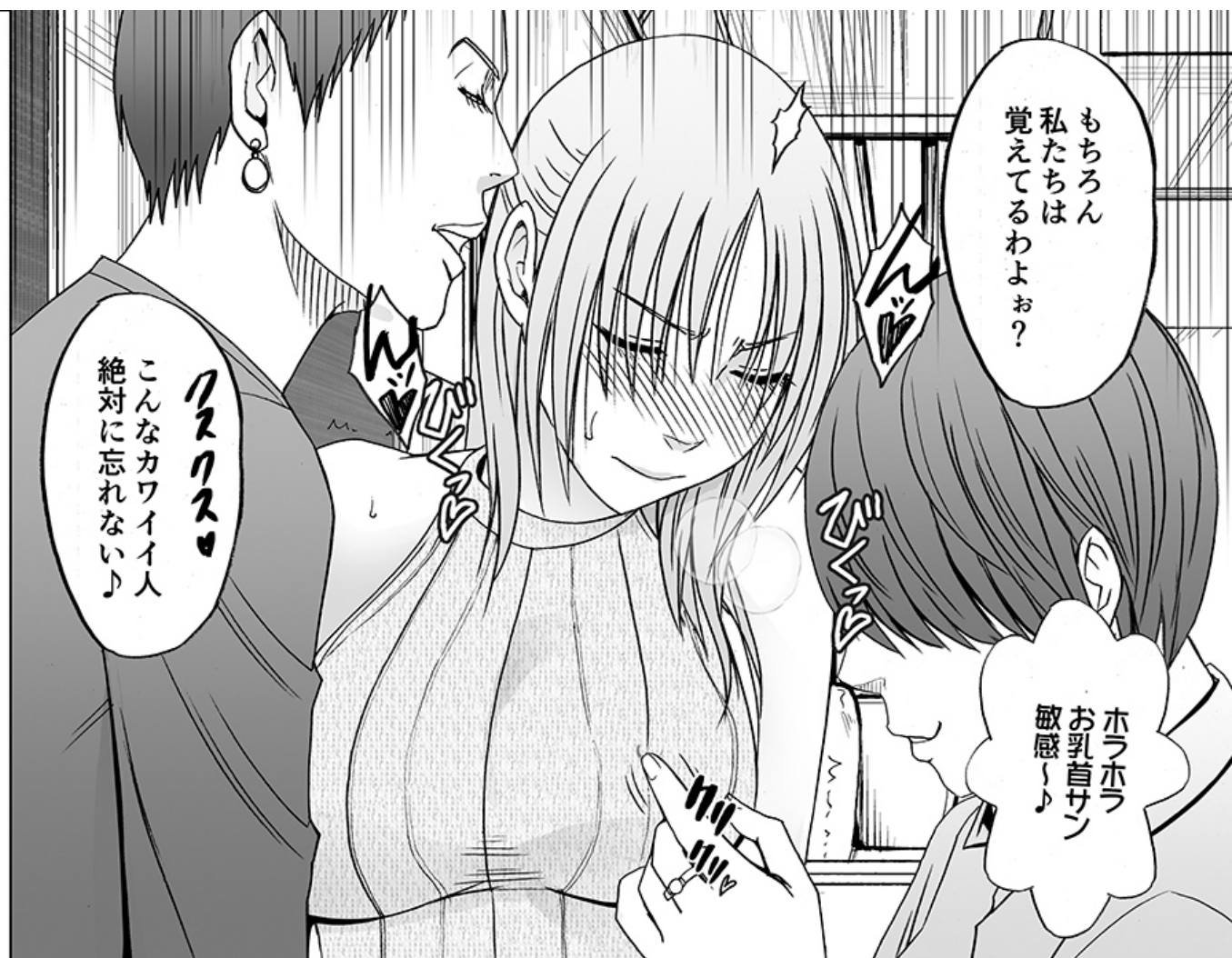
見抜かれた演技











もちろん
私たちは
覚えてるわよお？

ホラホラ
お乳首サン
敏感〜♪

フスフス
こんなカワイイ人
絶対に忘れない♪



もうこの車両に
乗ってるの

全員
関係者だからね

分かる？

ホームに
いたときから
狙われてたのは
お姉さんのほう

お姉さんは
私たちの罠に
はまったたのよ



アハハ
言っとくけど

騒いだり
助けを呼ぼうとしても
ムダだからね？



これは囃捜査…

本来なら
私が囃にかける
はずなのに





覚えてる
覚えてる

すっごく敏感で
感じやすいのに
絶対にイカなかった
女の子よねえ

すっごく
悔しそうな
顔するのが
ゾクゾクするのよね♥

ズッ



あーら
相変わらず
ビンカン♥

フ

感じ始めると
全然抵抗できなく
なるのが
サイコーにカワイイわあ

んん？
悔しいの？
気持ちイイの？

もう足が
ガクガクしてる♪

今日もトコトン
遊んであげる♡

ペロ

びんびん
……



